事務事業シート　　対象事業年度　平成 24 年度

コード
個12事12

事務事業の段階
☑ 計画 ☐ 事業化 ☐ 事業 ☐ 管理

1 PLAN（目的・概要）

一般事務事業　建設整備事業

政策名	3 夢のふくらむ港	23年度事業・個別施策評価結果（今後の取組みの方向性）			責任者	企画調整室 環境担当課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成					
個別施策名	12 快適な港湾空間を形成する	事務事業	成果	コスト		
事務事業名	12 名古屋港跳上橋の保存・活用方法の検討	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7819
					連携課	工事課
目的	名古屋港跳上橋の歴史資源としての保存・活用方法を作成します。				事業期間	平成21～24年度 ※「その他特記事項」
概要	名古屋港景観基本計画において歴史資源として位置づけられている（国登録有形文化財、近代化産業遺産）、名古屋港跳上橋の保存・活用について検討するものです。				根拠法令等	
					実施義務	☐有　☑無
24年度の実施予定	名古屋港跳上橋の保存・活用のため、実施設計により補修・補強設計及び施工計画の作成を行います。				関連シート	

2 DO（実施）

24年度に実施した内容・結果	実施設計により補修・補強設計及び施工計画の作成は完了しました。

コスト（年度）	単位	20（実績）	21（実績）	22（実績）	23（実績）	24（実績見込）	備考（款項目節等）
事業費　計	千円		7,455	0	0	2,989	（款項目節） 建設費/整備費/環境整備費/工事請負費
一般会計	千円		7,455	0	0	2,989	
事業会計	千円						（算出計算式）
その他	千円						
人員費　計	千円		1,201	3,986	4,569	2,876	
正規職員	人		0.14	0.47	0.53	0.33	
嘱託職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00	（その他）
合計	千円		8,656	3,986	4,569	5,865	

3 CHECK（検証）

活動・成果　指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標 24	備考（指標の算定方法など）
保存・活用方法作成工程の進捗状況（工程）	目標		2	2	1	2	（累計）6	以下の検討・作成手続きにおける実施工程数を合計します。①現況整理、②健全度調査の実施、③活用計画の作成、④補修・補強方法の検討、⑤補修・補強設計、⑥施工計画の作成
	実績		2	1	1	2		
	達成率（単年度%）		100.0	50.0	100.0	100.0		
	達成率（累計%）		33.3	50.0	66.7	100.0		
保存・活用方法作成工程の進捗率（%）	目標		33.0	67.0	67.0	100	（累計）100	保存・活用方法作成の手続きの実施工程数を把握することで事業の進捗度を見ます。進捗率は手続きの実施工程数÷予定工程数で算出します。
	実績		33.0	50.0	67.0	100		
	達成率（単年度%）		100.0	74.6	100.0	100.0		
	達成率（累計%）		33.0	50.0	67.0	100.0		

必要性・有効性・効率性の確認			判断理由（課題の抽出）	その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か？	☐○・×☐	平成24年度完了	※予想以上に損傷が激しかったので、23年度に活用計画の作成、補修・補強方法について取りまとめ、24年度に事業実施設計等を作成することとしたため、目標年度を22年度から変更。（23年度行政評価）
	利用者のニーズは高いか？	☐○・×☐		
	本組合が関与する必要があるか？	☐○・×☐		
有効性	目的や目標の水準は妥当か？	☐○・×☐		
	目標を達成したか？	☐○・×☐		
	個別施策へ貢献したか？	☐○・×☐		
効率性	最小のコストで成果をあげているか？	☐○・×☐		
	受益者に適正に負担させているか？	☐○・×☐		
	効率的な運営主体となっているか？	☐○・×☐		

4 ACTION（取組）

	事務事業	成果	コスト	判断理由
個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	完了			跳上橋の保存・活用の検討は完了しました。

個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み

平成24年度完了